

## 暗記カード

問題 No.	質 問	回 答
問 62	解熱鎮痛剤は、根治療法か対象療法か・・・	病気や外傷が <u>根本的に治すものではなく</u> 、病気や外傷が原因で生じている <u>発熱や痛みを緩和するために使用される医薬品</u>
問 62	解熱鎮痛剤の重複の良否と、その理由は・・・	<u>重複しないこと</u> 。その理由は、解熱鎮痛剤は、複数の有効成分が配合されている製品が多く、 <u>成分が重複することで効き目が強く現れすぎたり、副作用が起こりやすくなったりするおそれがある</u> ので
問 62	アスピリン喘息と解熱鎮痛剤の関係は・・・	「アスピリン喘息」としてよく知られているが、これはアスピリン特有の副作用ではなく、他の解熱鎮痛成分でも生じる可能性がある。
問 62	プロスタグランジンの主な 2 つの働きは・・・	①痛みの感覚を増強する ②体温を通常より高くする
発展 問題	解熱鎮痛剤の販売にあたり、 <u>医師や薬剤師に相談する</u> 場合は・・・	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 循環血流量の増加により心臓の負担を増大させるので、<u>心臓病のある人</u></li> <li>● 腎血流量を減少させるため、<u>腎臓病のある人</u></li> <li>● 解熱鎮痛成分が代謝されて生じる物質がアレルギー性となってアレルギー性の肝障害を誘発するので<u>肝臓病のある人</u></li> <li>● プロスタグランジンの胃酸分泌調節作用や胃腸粘膜保護作用作用が解熱鎮痛成分によって妨げられ、胃粘膜障害を起こしやすくなるので、<u>胃・十二指腸潰瘍のある人</u></li> </ul>

問 72	生薬のジャコウの主な作用は何か	強心作用、呼吸中枢刺激作用(呼吸機能を高める)、意識をはっきりさせたりする作用
問 72	生薬のゴオウの主な作用は何か	強心作用、末梢血管拡張による降圧作用、鎮静作用
問 72	苓桂朮甘湯(りょうけいじゆつかんとう)の①作用、②適応、③留意点について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ①苓桂朮甘湯は、強心作用が期待される生薬は含まれず、利尿作用により水毒(むくみ)を解消する</li> <li>● ②体力中等度以下で、めまい、ふらつきがあり、ときにのぼせや動悸があるものの、立ちくらみ、めまい、頭痛、耳鳴り、動悸、息切れ、神経症、神経過敏</li> <li>● ③カンゾウを含むので、グリチルリチン酸による偽アルドステロン症を生じやすい。</li> </ul>
問 72	生薬 センソの①作用とその特徴と、②使用上の留意点について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ①微量で強い強心作用を示す</li> <li>● ②1日用量中センソ 5mg を超えて含有する医薬品は劇薬に指定されている。一般用医薬品では、1日用量が 5mg 以下</li> </ul>
発展 問題	動悸、息切れの健康と病態の違いは？	激しい運動をしたり、興奮したりしたときなどの動悸や息切れは、正常な健康状態でも現れるが、日常生活の身体活動や平静にしているときに起こると病態となる。
発展 問題	動悸とは？	動悸とは、心臓の働きが低下して十分な血液を送り出せなくなり、脈拍数を増やすことによってその不足を補おうとして心臓の拍動が強く若しくは速くなり、又は脈拍が乱れ、不快に感じること。
発展 問題	息切れとは？	息切れとは、心臓から十分な血液が送り出されないと体の各部への酸素の供給が低下するため、呼吸運動によって取り込む空気量を増やすことでそれを補おうとして、息をすると胸苦しさや不快感があり、意識的な呼吸運動を必要となった状態。

発展問題	気つけとは	心臓の働きの低下による一時的なめまい、立ちくらみ等の症状に対して、意識をはっきりさせたり、活力を回復させたりする効果のこと。
発展問題	強心薬について簡潔に説明すると・・・	強心薬は、疲労やストレス等による軽度の心臓の働きの乱れについて、心臓の働きを整えて、動悸や息切れ等の症状の改善を目的とする医薬品である。心筋に作用して、その収縮力を高めるとされる成分(強心成分)を主体として配合される。
発展問題	強心作用のある4つ生薬とは	<ul style="list-style-type: none"> <li>● センソ、ジャコウ、ゴオウ、ロクジョウ</li> <li>● 「強気な政治語録」——せいじゴロク</li> </ul>

問75	生薬 コウカの作用と用途とは？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 作用——末梢の血行を促して鬱血(うっけつ)を除く作用</li> <li>● 用途——冷え症、血色不良に用いられる。</li> </ul>
問75	ヘプロニカート、イノシトール ヘキサ ニコチネートの作用・用途とは？	● いずれの化合物もニコチン酸が遊離し、そのニコチン酸の働きによって末梢の血液循環を改善する作用を示すとされる。ビタミンEと組み合わせて用いられる場合が多い。
問75	ユビデカキノンの①別名、②作用、③用途、④副作用、⑤留意点とは？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ①別名——コエンザイムQ10(キューテン)</li> <li>● ②作用——心筋の酸素利用効率を高めて収縮力を高めることにより血液循環の改善効果を示す</li> <li>● ③用途——軽度な心疾患により日常生活の身体活動を少し越えた時に起こる動悸、息切れ、むくみの症状に用いられる</li> <li>● ④副作用——胃部不快感、食欲減退、吐きけ、下痢、発疹・痒みが見られることがある。</li> <li>● ⑤留意点——動悸、息切れ、むくみの症状は、高血圧症、呼吸器疾患、腎臓病、甲状腺機能の異常、貧血などが原因となって起こることもある。これらの基礎疾患がある人では、使用する前にその適否につき、治療を行っている医師又は処方薬の調剤を行った薬剤師に相談するべきである。</li> </ul>
問75	ルチンの用途とは	● 高血圧等における毛細血管の補強、強化の効果を期待して用いられる

問81	制酸作用の胃腸薬にはどのようなものがあるか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 炭酸水素ナトリウム(重曹)</li> <li>● アルミニウムを含む成分——乾燥水酸化アルミニウムゲル、ジヒドロシアルミニウムモノアセテート等</li> <li>● マグネシウムを含む成分——ケイ酸マグネシウム、酸化マグネシウム、炭酸マグネシウム等</li> <li>● アルミニウムとマグネシウムの両方を含む成分——合成ヒドロタルサイト、メタケイ酸アルミン酸マグネシウム等</li> <li>● カルシウムを含む成分——沈降炭酸カルシウム、リン酸水素カルシウム等</li> </ul>
問81	メタケイ酸アルミン酸マグネシウムの2つの作用は？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ①胃酸の中和作用</li> <li>● ②胃粘膜にゼラチン状の皮膜を形成して保護する作用</li> </ul>
問81	アルミニウムを含む制酸薬の2つの注意点は？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ①透析療法を受けている人が長期間服用した場合にアルミニウム脳症及びアルミニウム骨症を引き起こしたとの報告があり、透析療法を受けている人では使用を避けること</li> <li>● ②透析治療を受けていない人でも、長期連用は避けること</li> </ul>

問 81	制酸薬の投与に際して医師等の相談が必要な場合とは？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 腎臓病の診断を受けた人では、ナトリウム、カルシウム、マグネシウム、アルミニウム等の無機塩類の排泄が遅れたり、体内に貯留しやすしたりするため医師等への相談が必要</li> </ul>
問 81	制酸薬の投与に際して他の薬剤との併用で注意する3つ点は？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ①かぜ薬、解熱鎮痛薬等——制酸成分が配合されていることが多く、併用により制酸作用が強くなりすぎる可能性があること、高カルシウム血症、高マグネシウム血症等を生じるおそれがある。</li> <li>● ②止瀉薬——カルシウム、アルミニウムを含む制酸薬</li> <li>● ③瀉下薬——マグネシウムを含む制酸薬</li> </ul>
問 81	消化酵素を含む胃腸薬とは？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ジアスターゼ、プロザイム、ニューラーゼ、リパーゼ、セルラーゼ又はその複合酵素(ビオジアスターゼ、タカチアスターゼ)等</li> </ul>
問 81	ウルソデオキシコール酸、デヒドロコール酸の①作用、②医師等への相談とは？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ①胆汁の分泌を促す作用(利胆作用)があるとされ、消化を助ける効果を期待して用いられる。</li> <li>● ②肝臓の働きを高める作用があり、肝臓病の診断を受けた人ではかえって症状を悪化させるおそれがあるため、医師等に相談</li> </ul>
問 81	胃粘膜の保護や修復作用をもつ薬剤は？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アズレンスルホン酸ナトリウム(水溶性アズレン)、アルジオキサ、スクラルファート、ゲファルナート、ソファルコン、テプレノン、セトラキサート塩酸塩、トロキシピド、銅クロロフィリンカリウム、銅クロロフィリンナトリウム、メチルメチオニンスルホニウムクロライド等</li> <li>● 胃粘膜保護作用のあるアカメガンソ</li> </ul> <p>⇒これらの薬剤は名前だけは覚えること！</p>
問 81	胃粘膜の保護や修復作用をもつ薬剤で医師等に相談する場合は？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アルジオキサ(アラントインと水酸化アルミニウムの複合体)、スクラルファートはアルミニウムを含む成分であるため、透析を受けている人では使用を避ける必要がある。</li> <li>● 透析治療を受けていない人でも、長期連用は避ける必要がある。</li> <li>● 腎臓病の診断を受けた人では、アルミニウムが体内に貯留しやすいため、使用する前にその適否につき、治療を行っている医師又は処方薬の調剤を行った薬剤師に相談がなされるべきである。</li> </ul>

問 1	薬機法が対象としている代表的な製品5つとは？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ①医薬品、②医薬部外品、③化粧品、④医療機器、⑤再生医療</li> </ul>
問 1	薬機法で行う必要な2つの規制とは？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ①品質、有効性及び安全性の確保</li> <li>● ②使用による保健衛生上の危害の発生及び拡大の防止</li> </ul>
問 1	薬機法で講じる2つの措置とは？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ①指定薬物の規制に関する措置</li> <li>● ②医療上特にその必要性が高い医薬品、医療機器及び再生医療等製品の研究開発の促進のために必要な措置</li> </ul>
問 1	薬機法の制定の目的とは？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保健衛生の向上を図ること</li> </ul>

問 21	医薬品は高い水準で均一な品質が保証されていなければならない理由とは？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 医薬品は、人の生命や健康に密接に関連するので、健康被害の発生の可能性の有無にかかわらず、異物等の混入、変質等があるとはならないと定められているから。</li> </ul>
問 21	医薬品が適正に使用されるために必要な主な3つの情報とは何か？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ①効能効果</li> <li>● ②用法用量</li> <li>● ③副作用</li> </ul>
問 21	健康における検査結果が重要な理由とは？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 検査結果について正しい解釈や判断がなされなければ、医療機関を受診して適切な治療を受ける機会を失うおそれがあるから。</li> </ul>

問 21	医薬品が及ぼす好ましくない反応(副作用)が生じる理由とは？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 医薬品が人体に及ぼす作用は複雑、かつ、多岐に渡り、そのすべてが解明されていないため、必ずしも期待される有益な効果(薬効)のみをもたらすとは限らず、好ましくない反応(副作用)を生じる場合がある。</li> </ul>
問 41	胃は内容物が送られてくると、どのようになるか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食道から胃に入ってきた刺激により、胃壁の平滑筋が弛緩(しかん)して容積が広がる</li> <li>● これを「胃適応性弛緩」と言う</li> </ul>
問 41	胃の粘膜の胃腺からは、何が分泌されるか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 胃酸とペプシノーゲンが分泌される</li> </ul>
問 41	ペプシノーゲンは消化において、どのように働くのか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 胃酸によって消化酵素のペプシンになり、たんぱく質を消化する働きをする</li> </ul>
問 41	胃酸の役割とは何か？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 胃内を強酸性に保って、内容物が腐敗したり、発酵したりしないようにしている</li> </ul>
問 41	胃の中に内容物が滞留している時間は？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 胃の運動によって胃液と混和され、粥(かゆ)状となって小腸に送り出されるまで数時間、胃内に滞留する。</li> </ul>
問 41	炭水化物と脂質の滞留時間の違いは？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 炭水化物主体の食品の場合には比較的短く、脂質分の多い食品の場合には比較的長い。</li> </ul>
問 41	強酸である胃酸に対して、胃自体は防御しているのか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 胃の粘膜表皮を覆う細胞から分泌される粘液で、胃液による消化作用から胃自体を保護している。</li> <li>● 従って、胃液分泌と粘液分泌のバランスが崩れると、胃液により胃の内壁が損傷を受けて、胃痛等の症状を生じる。これが胃潰瘍である。</li> </ul>
問 41	胃粘膜に含まれる成分で、小腸での吸収に関与しているビタミンとは何か？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ビタミン B12</li> </ul>